

野球規則改正内容(2018年度⇒2019年度)

別紙

(7)5. 10(m)および同【注】を追加する

(m)マウンドに行く回数の制限

以下の規則は、メジャーリーグで適用される。マイナーリーグでは、1試合のマウンドに行ける回数について、本項規定と異なる制限を設けてもよいし、制限を設けないこともできる。

- (1) 投手交代を伴わないでマウンドに行くことは、9イニングにつき1チームあたり6回に限られる。延長回については、1イニングにつき1回、マウンドに行くことができる。
- (2) 監督またはコーチが投手と話すためにマウンドに行った場合、回数に数える。また、野手が投手と相談するために守備位置を離れた場合や投手が野手と相談するためにマウンドを離れた場合も、位置や時間にかかわらず回数に数える。ただし、次の場合を除く。
 - (A) 打者が打撃を完了して次の打者が打席に入るまでの間、投手と野手がいずれも守備位置から離れずに話し合いが行われた場合。
 - (B) 雨天時に野手がスパイクの汚れを払うためにマウンドに行った場合。
 - (C) 投手の負傷、または負傷の可能性があるために、野手がマウンドに行った場合。
 - (D) 攻撃側チームによる選手交代の通告後、野手がマウンドに行った場合。
- (3) サインの確認—1試合（または延長回）で決められたマウンドに行くことができる回数を使い果たした後に、捕手が出したサインについて投手と意思の確認ができていないと球審が判断した場合には、捕手からの要求があれば球審は捕手に少しかマウンドに行くことを認めてもよい。決められた制限回数を使い果たす前にサインの確認のためにマウンドに行った場合は、回数に数える。

【注】 我が国では、所属する団体の規定に従う。